

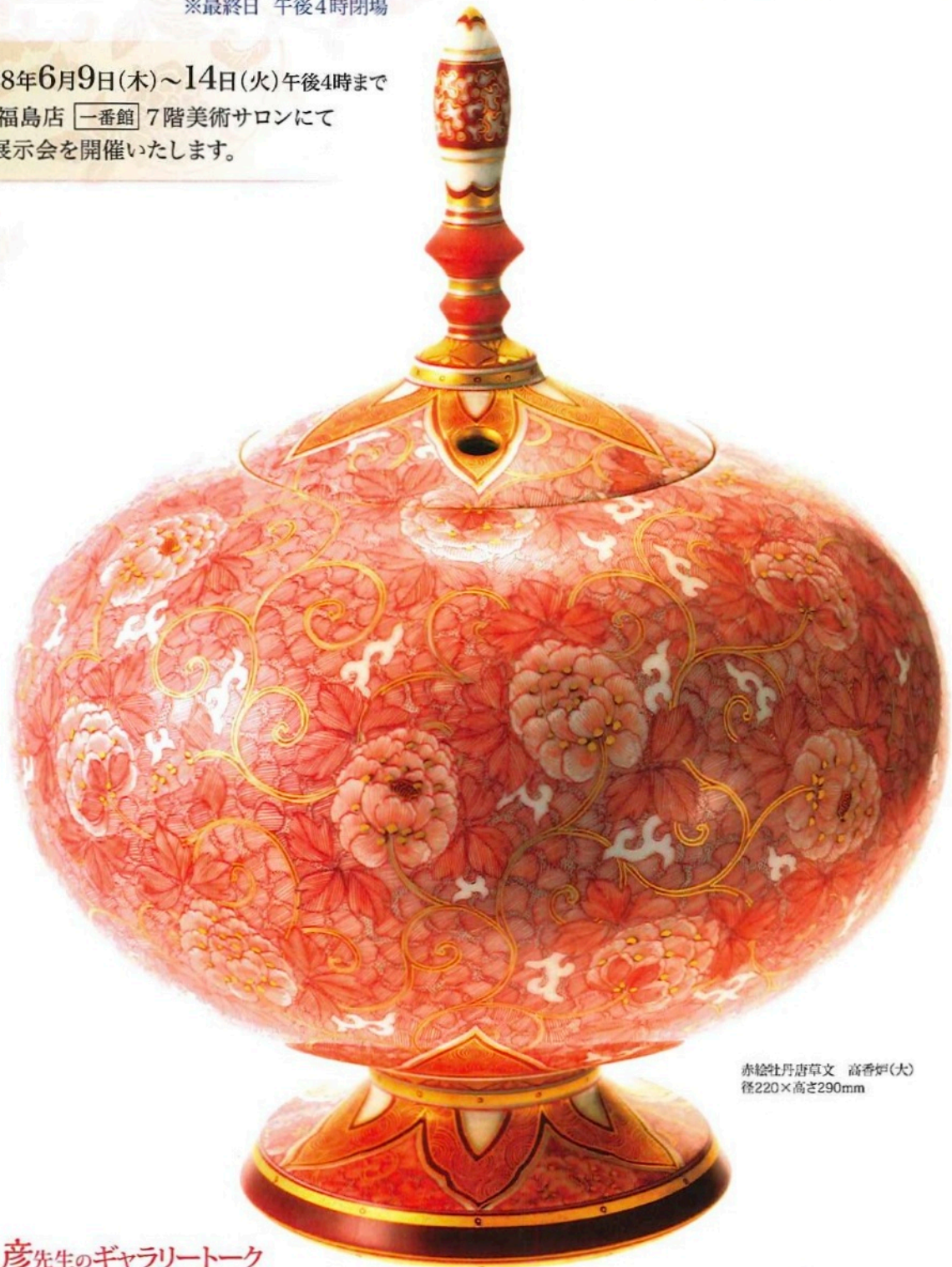
九谷焼 吉祥で描く美の世界 第5回記念展

こめ きゅう かず ひこ
赤絵細描 米久和彦 作陶展

平成28年6月16日(木)~20日(月)
※最終日 午後4時閉場

中合 福島店 一番館 7階大催事場

平成28年6月9日(木)~14日(火)午後4時まで
中合 福島店 一番館 7階美術サロンにて
先行展示会を開催いたします。



赤絵牡丹唐草文 高香罎(大)
径220×高さ290mm

米久和彦先生のギャラリートーク
とき/6月18日(土)・19日(日)
14:00~14:30 [両日とも]
ところ/中合福島店 一番館 7階大催事場
会期中、作家来場絵付け実演致します

この街と人が好きだから

NAKAGO

福島店/〒960-8501 福島市栄町5-1 電話(024)521-5151

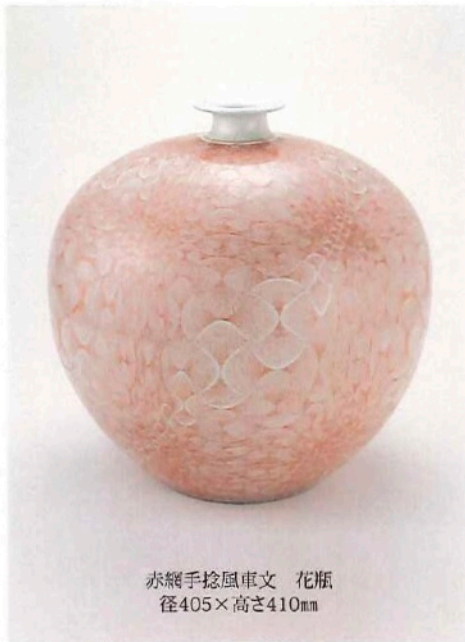
希望と喜びを願い表す 美しい吉祥文様の世界



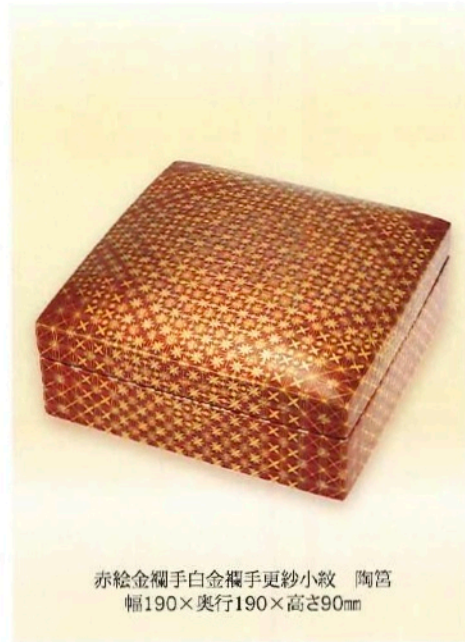
こめ きゆう かず ひこ
米久窯 米久 和彦

[陶歴]

- 昭和43年 ■石川県能美市(旧根上町)に生まれる
- 平成 2年 ■金沢美術工芸大学 美術学科(油絵)卒業
- 平成 4年 ■石川県立九谷焼技術研修所専門コース卒業
- 平成 8年 ■米久窯を自立、自営の道に入る
- 平成13年 ■各地にて個展開催
- 平成22年 ■横浜市山手西洋館(外交官の家)にて創建百歳を祝う
テーブル&フラワーコーディネートに参加
■ウェスティンホテル東京「舞」にて花と器と宴「秋の宴」
- 平成23年 ■ウェスティンホテル東京「舞」にて四季の彩り一花と器と宴
- 平成24年 ■金沢しいのき迎賓館「NIPPONを祝う」テーブルコーディネートに参加
- 平成25年 ■元首相森喜朗氏がロシア訪問の際、プーチン大統領に作品を寄贈
■ザ・リッツカールトン東京 日本料理ひのきざかにて「アートオブクタニ」開催
■東京上野 旧岩崎邸園庭オータムイベント「彩の秋」にて展示
■静岡世界お茶まつり2013にて現代のO-CHA道具作品展に招待出品



赤網手捻風車文 花瓶
径405×高さ410mm



赤絵金欄手白金欄手更紗小紋 陶箱
幅190×奥行190×高さ90mm



赤絵細描唐華文
デカンタ
径115×高さ275mm

赤絵細描唐華文
洋盃
径65×高100mm

作陶展記念
コラボレーション企画



徳利×1 (高さ130mm)
盃×2 (高さ45mm)

東北の地酒を代表する酒造メーカー

超絶技巧 赤絵細描

大七酒造様 × 米久和彦氏

プレミアムセット

Premium set

「赤絵細描七宝文 酒器」

限定10セット

箱書正式名：赤絵金欄手七宝文 宝尽クシ 手酌酒器

270,000円(税込)

文様の説明

酒器の徳利の下部に描かれた「七宝文様」の「七宝」は、四方に広がる文様という意味の「四方」をさします。

仏教の七宝仏教の經典に書かれている七つの宝物「金、銀、瑠璃、珊瑚、瑪瑙(めのう)、玻璃(はり)、千年生きたとされるシャコガイ」が由来すると言われています。円周の四分の一ずつを重ねる繰り返しの文様を連続して描いていくと、絶えることのない永遠の連鎖と拡大を意味し、円満、調和の吉祥文様として親しまれています。さらにその七宝文に、ここから繁栄発展が広がっていくという起点のしるしの「十字の文様」を加え、二重の意味を持ち合わせる大変縁起の良い吉祥文様になりました。

また、徳利の上部と盃の内側には、打出の小槌、瓢箪、軍配などの宝尽くしを金欄手技法で描きました。金彩が華やかに光を放ち、酒器としての景色も美しく、呑むときまでも吉祥を体中に取り入れられるような豪華な酒器セットになりました。

第5回 記念展 赤絵細描 米久 和彦作陶展

■会期 6月16日(木)～20日(月)

■会場 中合 福島店 一番館7階 大催事場

日頃よりご愛顧賜り誠にありがとうございます。

この度、中合福島店では「赤絵細描 米久和彦展」を開催いたします。

米久和彦先生は九谷焼の中でも際立って細かい筆致と根気が要求される、赤絵細描の技法を修得した数少ない作家として活躍中です。

中合福島店での開催は本展で5回目となり、記念すべき展示会となります。

福島県の皆様に育てていただいた、長年の感謝の思いを込めて制作した新作の数々、四季折々の風情を演出したテーブルコーディネートなど、新しい米久先生の世界を発表させていただきます。

今回は特別作品として、東北の地酒を代表する大七酒造様のご協力をいただき

大七酒造 X 米久 プレミアムセット「赤絵細描 七宝文酒器」の制作が決定いたしました。

ものづくりにこだわった、ふたつの匠のコラボレーションは大きな話題となりそうです。



3月7日 大七酒造にて
太田社長と米久先生



すべてフリーハンドで描く米久先生の作品
会場では先生が実演を行います。

米久和彦 Profile

- 昭和 43 年 石川県能美市に生まれる 平成 2 年 金沢美術工芸大学美術学科(油絵)卒業
- 平成 4 年 石川県立九谷焼技術研修所 専門コース卒業
- 平成 8 年 米久窯を自立、自営の道に入る
- 平成 11 年 兼六園大茶会工芸作品公募展 奨励賞受賞 使ってみたい北の菓子器展 入選
- 平成 22 年・23 年 東京 恵比寿 ウェスティンホテル東京「舞」にて 「四季の彩り・花と器と宴」を開催
- 平成 24 年 金沢しいのき迎賓館「NIPPONを祝う」をテーブルコーディネートに参加
- 平成 25 年 元首相 森喜朗氏がロシア訪問の際、プーチン大統領に作品を寄贈
東京上野・旧岩崎邸園庭オータムイベント「彩の秋」にて展示
静岡世界お茶まつり 2013 にて現代の O-CHA 道具作品展に招待出品